

# 『精神保健福祉士国家試験キーワード』【補遺】

## (第21回国家試験問題追加)

### I 精神疾患とその治療

---

#### ② 脳および神経の生理・解剖

□脳の構造では**中枢神経系**は、大脳、間脳、小脳、中脳、橋、延髄からなる。**間脳**は視床が大部分を占める。末梢神経系は体性神経系と自律神経系とに区別され、体性神経系には、脳神経と脊髄神経がある。(19-2,21-1)

#### ⑥ 統合失調症

□**被害妄想**は、「隣の家の人が電磁波攻撃を仕掛けてくる」などの妄想がある。(21-4)

#### ⑦ 気分(感情)障害

□**うつ病**患者の訴えとして、「自分は過去に重大な罪を犯したので、罰を受けている」などの**罪業妄想**がある。また、罪業妄想がみられるのは、うつ病だけではない。(4-5, 21-5)

#### ⑨ 神経症性障害

□**広場恐怖**と**閉所恐怖**はともに**パニック障害**の症状を呈する場合がある。(3-1,21-2)

□**心気障害**の経過は、慢性的で動揺性である。1つ以上あるいはそれ以上の重篤で進行性の身体疾患に罹患しているという頑固なとらわれが特徴である。(11-4,12-7,21-3)

#### ⑪ その他の疾患

□てんかんの診断では、**脳波検査**は欠かすことができない。てんかんには、特発性と症候性がある。てんかんの小発作は、現在では欠神発作と呼ばれ、痙攣発作の軽いものではない。(3-2,3-3,7-5,14-10,21-6)

#### ⑫ 精神科薬物療法

□**選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)**は、抗うつ薬であるが、副作用として、性機能障害や**眠気・嘔気**を生ずることがある。また、**神経性過食(大食)症**の治療に有効なものがある。(3-5, 5-4,6-7,10-10,21-7)

#### ⑬ その他の治療法

□**修正型電気けいれん療法**は、**妊娠中の女性**にも行うことができるが、**麻酔科医との連携**が必要となる。(21-8)

□**統合失調症**の**非薬物的治療法**として、**作業療法**がある。(21-9)

## 14 精神医療対策

□厚生労働省による「平成 26 年患者調査」及び「平成 26 年病院報告」において、精神病床数は約 34 万床である。

## II 精神保健の課題と支援

---

### 4 学童期・思春期・青年期の課題と支援

□学校教職員の精神疾患による病気休職者は、平成 19 年度以降、5000 人前後で推移している。(21-13)

### 5 成人期の課題と支援

□性同一性障害特例法における性別の取扱いの変更の審判をすることができる請求者の条件に含まれるものとして 20 歳以上であることとされている。(21-15)

◆「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」のことである。

□ストレスコーピングとは、個人が有するストレスへの対処方法のことである。(21-11)

□グリーフケアにおいて悲嘆は正常な反応であることを伝え、悲嘆が長期化したときは、精神保健の専門家の介入を検討する。(21-12)

### 9 自殺とメンタルヘルス

□自殺対策基本法改正〔2016(平成 28)年〕によって新たに加えられたものに、「心理的負担を受けた場合の対処方法を身に付けるための児童生徒に対する教育」と「都道府県及び市町村は、自殺対策計画を定めること」とした。(21-16)

### 10 職場のメンタルヘルス

□労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度は、事業者が個人の検査結果の提供を受けられる場合は、検査結果を通知した後に個別に同意を取得する必要がある。(21-14)

### 12 精神保健に関する法規

□精神保健および精神障害者福祉に関する法律に定められているものに、その対象となる精神障害者の定義と国民の精神保健の向上を図ることである。(21-18)

### 13 精神障害者の社会復帰、地域精神保健

□ひきこもり地域支援センターは、都道府県・指定都市に配置され、ひきこもりに特化した専門的な窓口となる。ひきこもり支援コーディネーターが配置され相談や訪問支援を行う。(19-13,21-17)

□**精神保健福祉センター**は、関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修等の教育研修を行い、技術的水準の向上を図る。**精神医療審査会**の開催事務および審査遂行上の必要な調査その他の当該審査会に関する事務を行う。**精神障害者保健福祉手帳**の申請に対する判定業務を行う。精神保健および精神障害者福祉に関する相談および指導のうち、複雑または困難なものを行う。(9-17,10-14,21-20)

□**施設コンフリクト**とは、福祉施設の新設に際して地域住民から反対運動が起こることをいう。(21-19)

### Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤

---

#### ① 精神保健福祉士とは

□**精神科ソーシャルワーカーの歴史**において、1987年(昭和62年)の精神衛生法改正時の附帯決議では、精神科ソーシャルワーカー等のマンパワーの充実を図ることとされた。

2010年(平成22年)の精神保健福祉士法の改正では、精神障害者への地域相談支援の利用に関する相談が精神保健福祉士の役割として明確に位置づけられた。(21-21)

□**国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)**の倫理綱領に規定されている倫理基準に、**業務改善の推進と専門性の向上**がある。(21-22)

#### ③ 精神保健福祉相談援助の基本的考え方

□**ソーシャルワークにおける生活モデル**とは、包括的な視点からクライアントと環境の相互作用の接点に介入する。(21-24)

#### ④ 精神保健福祉士の役割

□精神保健福祉士が関係者や社会に対して実施する、実践やその結果に関する情報開示や説明の根拠となる考えを示すものとして、**アカウンタビリティ**がある。(21-25)

□精神保健福祉士が行うアドボカシーにおける介入機能の説明として、ソーシャルワーカーの理念と組織・制度の問題を結び付けるために、クライアント集団と地域福祉政策とを結び付ける。(21-28)

#### ⑤ 相談援助の理念

□アメリカやカナダにノーマライゼーションの理念を紹介した W.ヴォルフエンズベルガーは、その後、**ソーシャルロールパロリゼーション**として社会的に価値を低められている人々に、**社会的役割をつくり出す**といった理念を提唱した。(3-31,7-31,11-33,21-23)

#### ⑦ 談援助にかかわる専門職

□**サービス管理責任者**は、**個別支援計画**の策定やモニタリング等、サービス提供のプロセス

全体を管理する、一部の指定障害福祉サービス事業所に配置された、サービスの質を確保するための責任者の立場をいう。本職務に就くためには、厚生労働省の定めた5年以上の実務経験と国が定める要件を満たす必要がある。(17-28,21-27)

□**作業療法士**は患者の状態像をアセスメントし、医師の指示の下に、社会的適応能力等の回復を図るため、工作等の作業指導を行う。(21-26)

□**管理栄養士**は、傷病者に対する栄養指導並びに施設での給食管理及び栄養改善上の必要な指導等を行う。(21-26)

#### ⑧ チームアプローチ

□トランスディシプリナリ・モデルによる多職種チームに関する特徴として、役割の固定性がインターディシプリナリ・モデルよりもさらに低く、専門職の役割は容易に交代ができるタイプのチームの形であり、共通の達成課題を掲げ、各専門職の役割代替が認められるものである。(15-29, 19-29, 21-29)

## IV精神保健福祉の理論と相談援助の展開

---

#### ⑥ 精神科リハビリテーション

□精神科リハビリテーションにおける**チームアプローチ**でそれぞれの視点でモニタリングを行い、その結果を共有する(21-40)

□「地域に根差したリハビリテーション(CBR)」の考え方として、総合的な地域開発の戦略の一つである。(21-41)

◆1994年にWHO,ILO,UNESCOにより示された合同政策方針のことである

#### ⑦ 相談援助の過程

□**退院後生活環境相談員**(精神保健福祉士)の業務として、退院に向けた意欲の喚起や相談支援を行うことや、地域生活のための**クライシスプラン**を検討する。(21-37)

□相談援助の**インテーク段階**において、相談機関が対応可能かどうかを判断する方法として、**スクリーニング**がある。(21-42)

□相談援助の**プランニング段階**の説明として、ニーズを充足するための様々な社会資源を検討し、それらの活用を考える。(21-43)

#### ⑨ グループワーク

□**グループワーク**における**作業期**では、グループが目標に向けて作業に取り組むことを支援する。また、グループ内に形成されたサブグループを活用する。(7-60,14-61,21-45)

## V 精神保健福祉に関する制度とサービス

---

### ① 精神保健福祉法

□医療保護入院において、入院に同意する「**家族等**」には、後見人と保佐人が含まれる。

(21-62)

### 2 障害者福祉に関する法制度

□障害者基本法に規定されている事項として**障害者政策委員会**が規定されている。(21-63)

□**市町村の業務**として障害支援区分の認定がある。(21-66)

### ③ 社会保障制度

□国民健康保険の**高額療養費制度**において、保険医療機関窓口での支払いを自己負担制度額まで抑えられる制度がある。(21-64)

□生活保護の医療扶助では、通院移送費が含まれる。(21-65)

### ④ 精神障害者保健福祉手帳

□**精神障害者保健福祉手帳**の申請には、申請者本人の顔写真の添付が必要である。(21-61)

### ⑥ 更生保護制度

□**地域生活定着支援センター**は、高齢者や障害者で矯正施設に収容された対象者のうち、退所後に行き場所のない対象者に対して、必要な福祉サービスが受けられるよう支援につなげるために設置されている。また、**少年院**から退院する者も支援の対象者に含まれる。

(22-66, 21-67)

### ⑦ 医療観察法

□「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(**医療観察法**)の対象となる重大な他害行為とは、**殺人、放火、強盗、強制性交および強制わいせつ、傷害**である。(7-20,21-68)

### ⑧ 社会調査

□**ランダム化比較試験(RCT)**は、デイケアなどで調査の対象となる人を無作為に2つの集団に分けて尺度を用いたアンケートを比べるものである。(21-69)

## VI 精神障害者の生活支援システム

---

### ③ 就労支援

□**地域障害者職業センター**では、障害者職業カウンセラーが配置され、職業評価、職業指導、

職業リハビリテーション計画策定などを行う。また、その業務として職場復帰支援（リワーク支援）の実施と職場適応援助者（ジョブコーチ）の派遣がある。（1-42,6-42,18-78, 21-75）

□精神障害者の地域生活支援に関して、障害福祉サービスを担う民間組織には、特定非営利活動法人がある。（21-76）

#### 4 生活支援システム

□障害者総合支援法に基づく精神障害者に関連したサービスにおいて、重度訪問介護は常時介護を要する者を対象とする。（21-74）